

やまきたまち 議会 だより

議会のおと

P 2 ～ 3 …特集！200号記念

P 4 …台風19号の災害復旧に向けて

P 7 …やまきたこども園保護者会の「声」



農業を支える女性の力
おれんじ会(関連記事は裏表紙に)

昭和45年9月に
 発行された「議会だより」も、あれから50年…。
 本号で200号を
 刊すること
 ました。

おかげさまで

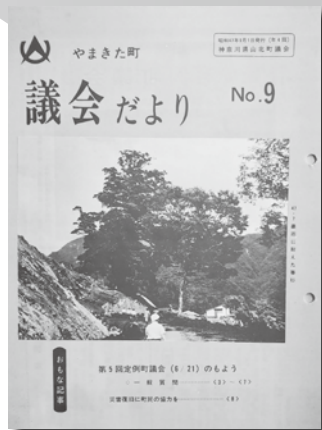
200号



第1号 創刊 昭和45年9月
 記念すべき第1号
 住民の傍聴の代わりにと
 「議会だより」が創刊された



第33号 昭和53年9月
 昭和53年7月三保ダムが完成
 この年、議員定数削減条例
 (26人→24人)を否決した



第9号 昭和47年9月
 昭和47年7月12日、未曾有の
 集中豪雨が西丹沢を襲った



第97号 平成6年8月
 5月に河村城址歴史公園が開園
 翌年3月には足柄西部環境セン
 ターが開設した



第122号 平成12年8月
 平成12年5月 役場新庁舎が完成
 丸山配水池が供用開始された



第190号 平成29年8月
 鹿島山北高等学校が開校
 議会広報紙もタイトル変更「議会のおと」へ
 紙面も刷新し、QRコード等活用を取り入れる



第179号 平成26年11月
 平成26年3月に三保・清水中学校が閉校、
 平成27年3月には清水小学校も142年の
 歴史に幕を閉じた

この先、さらなる広報紙の充実を目指し

1. 町民アンケート
2. 議会広報モニター (※)
3. 住民参加の紙面構成

これらの取り組みを実施していきます。

※議会広報モニター制度とは

議会広報紙の一層の充実に向け、紙面の構成や編集などに対するご意見・ご提案を広く町民の皆さまからお聴かせいただくために、議会広報モニターを公募するものです。

これからも

広報紙を目指します

親しみやすく
 読みやすい



Q 会計年度任用職員の対象者は、130人程度ということだが、新規正規職員に影響を及ぼすようなことはないか。
総務防災課長 現在の仕事を引き続きやっていたくことを考えているので想定していない。

山北町会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例	
会計年度任用職員って？	
◆法改正に伴い、臨時職員だった地方公務員を令和2年4月よりフルタイムとパートタイムに、わけて任用するもの	
この条例のポイントは？	
◆期末手当を含む諸手当が支給される ◆これまで半年だった任期が1年に	

総務環境常任委員会に付託され、慎重に審議後、本会議によって可決。

働き方改革スタート

2つの条例が制定

Q 現在の臨時職員が移行していくという形になると思うが。
総務防災課長 現在の臨時職員の方がそのままスライドして会計年度任用職員として働いていただかないと、人的に不足するということが実際の現場状況である。継続的に広く募集する必要がある。

Q 今の年収よりもアップするという考え方でよいのか。
総務防災課長 年収について個々によって違うが、期末手当を支給するようになった。

期末手当は、6月に1.3月分。12月に1.3月分の計2.6月分になる。ただし、勤務形態などによって満額支払われない場合もある。



Q 基金として積み立てる額は予算に定める額とするとあるが、町の考え方は。
農林課長 今年度の641万9千円については、林道等の改修や、人家近くの森林の整備をする際の土留鋼板の補助である。しばらくは林道等の補修を進めつつ、その他の使途を検討していく。
執行残が出た場合には翌年度の予算で基金として積み立てるための手続きが必要となる。

山北町森林環境譲与税基金条例	
森林環境譲与税って？	
◆森林整備、担い手の人材育成、普及啓発、木材利用等へ使用するのが目的	
◆温室効果ガスの排出削減目標達成や災害防止等を図るために創設	
◆個人1人当たり1,000円が2024年から徴収される	

台風19号の災害復旧に向けて

一般会計歳入

- ふるさと応援寄附金（災害支援金）含めた一般寄付金 2億7922万円

一般会計歳出

- 農道、林道、清水ふれあいセンター等復旧費 2635万6千円
- 町道復旧費 3231万円 ● 洒水の淹復旧費他 322万9千円
- 簡易水道修繕費 225万円

水道事業会計

- 皆瀬川浄水場取水塔復旧工事他 874万5千円

※これらの補正額は、11月18日の臨時会と12月定例会にて、審議・議決されたものです。



土砂に埋まったふれあいビレッジ

※これから復旧を必要とする町有施設（ふれあいビレッジ、中川水源交流の里施設等）の動向は、議会として注視していきます。

Q ふるさと応援寄附金の「町長に任せ」はどのように使用していくのか。
町長 災害復旧にもあてていきたい。

Q 雨漏りがあった旧三保中学校の体育館の修繕はいつ行うのか。
教育長 今年度調査を行った上で来年度以降に行いたい。

第4回定例会
12月4日～10日開催

町施設の利用料がかかります

○山北町有施設使用条例の一部を改正する条例

とつかわる。
・旧学校体育館を含めた8施設の使用料の見直し

Q 今回使用料を見直す施設と見直さない施設があるのはなぜか。
企画政策課長 利用料金が使用料と消費税とはつきり分かれている施設について、増税分の値上げをすることとしたが、利用率の低い施設については、据え置きとした。

なお、抜本的に料金を見直す施設については、来年10月を目途に実施する。

○山北町立中川温泉ぶなの湯の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例

とつかわる。
・ぶなの湯利用料金を上限50円上げる
・障がい者の小人の利用料金を新たに設定

Q これまでの消費税増税で値上げしなかったのはなぜか。
商工観光課長 券売機が古い旧式のもので10円単位の使用が難しかった。

Q 町民割引の料金は改正されるのか。
商工観光課長 改正される可能性もある。



町内外から愛されるぶなの湯

県外視察レポート 議会改革の先進地2町を視察

長野県喬木村 10月16日

喬木村は人口減少、高齢化等により議員のなり手不足が深刻化する中で議会改革に取り組んでいました。ポイントとしては、①兼業議員が活動しやすい環境を整備するため「夜間休日議会」の実施。②「当たり前を疑い」改善し、議会活動の「当たり前」を実施する事をモットーに進めていることでした。

また、議場のレイアウトが自由に変更でき、各種会議や会合にも利用されており、開かれた議会の雰囲気を感じました。さらに議会と町民の距離を縮める方策として、議会モニター制度を取り入れていました。

できることから始めるという当たり前を大いに参考にすべきと考えさせられました。

山梨県昭和町 10月17日

昭和町は、周囲の力を集めながら議会改革を進めていると感じました。山梨学院大学との提携により、研修や政策提言、コンサルティングを実施し、大学生の政策提案発表や、町民参加型政策提案学習会で町民・学生・各種団体から広く意見を集め、政策提言につなげていることで「議会の見える化」に努力しているようでした。また、県立甲府昭和高校との連携により、主権者教育に係わることで議会に対する高校生の理解が深まり、将来の議会人の養成にもつながっていくのではないかと感じました。

町民の意見を反映させることで議会が見えるようになり、議会が活性化することは重要なことであり、「議会モニター」の制度は取り入れたいと強く感じました。



やまきたこども園保護者会の「声」

- 10月10日に議会では、やまきたこども園保護者会の皆さまと意見交換をしました。こども園は開所から4年目を迎えましたが、更なる幼児の環境づくりに向け、ご意見を反映していきたいと思えます。
- 【参加者の主な意見】
- 3〜4歳の遠足がなくなったのはなぜか。今後は実施する予定はないのか。
 - やまびこ連絡協議会は、目的に沿った運営がされていない。また、向原保育園が入っていない理由は。
 - 「こども園アンケート」を取ったが、その内容は町や議員に伝わっているのか。
 - こども園は園児が多いので、小学校へ行っても心配がない。
 - 途中から仕事に就いたがこども園だったため、スムーズに移行ができた。行政の対応もよかった。
 - 0〜2歳児と園舎が違うため日々の交流がない。
 - 向原保育園の形態のような異年齢の交流も良いのだが。
 - 丸山公園は草が生い茂っている。芝ソリもできない。走り回れる公園が欲しい。



町内各所で車座集会を開催中

町議会では、1月27日から町内6会場でひざを突き合わせての車座による意見交換を行っています。委員会の活動報告のほか、グループに分かれて参加者との意見交換を行います。

2月は次の日程で開催しますので、ぜひご参加をお待ちしております。

2月開催の議会報告会日程

開催日	会場	時間
2月3日(月)	共和のもりセンター	19:00～20:30
2月5日(水)	高齢者いきいきセンター	19:00～20:30
2月7日(金)	向原児童館	19:00～20:30

【問合せ】議会事務局 75-3653(直通)

議案等審議の結果

第4回臨時会（11月18日）

件名	月日	審議結果	件名	月日	審議結果
山北町職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について	11月18日	可決 (賛成全員)	令和元年度山北町介護保険事業特別会計補正予算(第2号)	11月18日	可決 (賛成全員)
令和元年度山北町一般会計補正予算(第4号)	11月18日	可決 (賛成全員)	専決処分の承認について(令和元年度山北町一般会計補正予算(第3号))	11月18日	承認 (賛成全員)
令和元年度山北町下水道事業特別会計補正予算(第2号)	11月18日	可決 (賛成全員)	専決処分の承認について(令和元年度山北町水道事業会計補正予算(第1号))	11月18日	承認 (賛成全員)

第4回定例会（12月4日～10日）

件名	月日	審議結果	件名	月日	審議結果
山北町会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の制定について	12月10日	可決 (賛成全員)	山北町税条例の一部を改正する条例の制定について	12月5日	可決 (賛成全員)
山北町森林環境譲与税基金条例の制定について	12月10日	可決 (賛成全員)	山北町放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について	12月5日	可決 (賛成全員)
地方公務員法及び地方自治法の一部を改正する法律の施行等に伴う関係条例の整備に関する条例の制定について	12月5日	可決 (賛成全員)	山北町ひとり親家庭等の医療費助成に関する条例の一部を改正する条例の制定について	12月5日	可決 (賛成全員)
山北町表彰条例の一部を改正する条例の制定について	12月5日	可決 (賛成全員)	山北町水道事業給水条例の一部を改正する条例の制定について	12月5日	可決 (賛成全員)
山北町駐車場使用条例の一部を改正する条例の制定について	12月5日	可決 (賛成全員)	令和元年度山北町一般会計補正予算(第5号)	12月5日	可決 (賛成全員)
山北町有施設使用条例の一部を改正する条例の制定について	12月5日	可決 (賛成全員)	令和元年度山北町下水道事業特別会計補正予算(第3号)	12月5日	可決 (賛成全員))
山北町立中川温泉ぶなの湯の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について	12月5日	可決 (賛成全員)	令和元年度山北町介護保険事業特別会計補正予算(第3号)	12月5日	可決 (賛成全員)
山北町都市公園条例の一部を改正する条例の制定について	12月5日	可決 (賛成全員)	令和元年度山北町水道事業会計補正予算(第2号)	12月5日	可決 (賛成全員)



堀口 恵一 議員

問 国会議員も動き出した御殿場線改善に町としての要望を
答 JR・私鉄沿線市町利便性向上対策連絡会と連携し、利用者の利便性向上を要望していきたい

問 駅バリアフリー化はホームなどコンパクトに再設計すれば低コストでできる。
連絡会でJRに要望すれば強力と思うがどうか。

昨年10月静岡県東部と神奈川県西部の与党国会議員、県議、市町長らが「JR・私鉄沿線市町利便性向上対策連絡会」を設立し同日、鉄道事業者5社の役員との意見交換会を国会内で開き、「またぎ利用」実現や乗り継ぎ時間の短縮、駅バリアフリー化などを求めた。町も「御殿場線活用推進協議会」にて、議員は議員連盟にて活動しており、その関係で、国会議員も動き出したと考える。

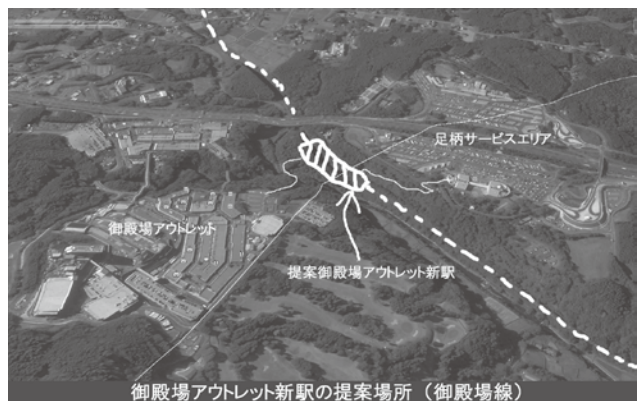


山北駅の階段通路、長いホーム、廃線部の広い敷地一部を撮影

答 松田町が駅周辺整備基本構想・計画を策定、推進しているので、その動向を注視し、要望していきたい。

問 新松田駅を小田急線と御殿場線との交点に移設して、最短距離で乗り換えできるようにする案はどうか。

答 「御殿場線活用推進協議会」で議論し、連絡会としての要望に繋げていく必要がある。また「神奈川県鉄道輸送力推進協議会」では町内駅のバリアフリー化を引き続き強く要望していく。



御殿場アウトレット新駅の提案場所（御殿場線）

答 他市町財政に影響するので難しいが、協議会に情報提供し、要望していくかどうか検討していきたい。

問 雇用連携を考え、御殿場アウトレットと足柄サービスエリアの間に、新駅を要望する案はどうか。

問 観光という観点で、東海道線と乗り換えなしで乗車できる箱根周遊線ダイヤを要望する案はどうか。

答 JR東海は東京方面乗り入れ再開の考えはない状況なので、御殿場線内での観光臨時列車増便の要望や、観光客が乗り換えで生じる滞留を利用した地域の観光振興や活性化などを検討していきたい。



東海道線と御殿場線で箱根周遊線を想定した図



想定する新松田駅の場所イメージ

原稿は、質問者本人が作成しています。



ページ	質 問 事 項	質 問 議 員
9	国会議員も動き出した御殿場線改善に町としての要望を	堀 口 恵 一
10	1. 箱物行政への考えを問う 2. 台風19号の被害を教訓に 3. 河村氏ゆかりの地として	石 田 照 子
11	災害に強い森林づくりと林業の活性化を	和 田 成 功
12	地震災害時における避難所開設について	清 水 明
13	防災対策と災害への対応策の見直しは	瀬 戸 恵 津 子
14	第5次総合計画の実現に向けた町道の整備を早急に	遠 藤 和 秀
15	1. 避難所となる公共施設にオフグリッド（独立型電源）導入を 2. 外国人へのサポート体制は	山 田 陽 子



和田 成功 議員

問 災害に強い森林づくりと林業の活性化を 答 適正に森林を管理していく必要がある

当町にも大きな被害をもたらした台風19号。倒木・土砂流出などによる停電や、断水及び計画断水の長期化など記憶に新しいところである。

約9割が森林の当町として、防災・減災の観点からも土砂災害防止機能を高度発揮できる森林整備・森林管理が必要であると考え質問する。



エネルギーの地産地消と経済の町内循環を可能にする木質バイオマスボイラー

問 林業の活性化として、持続的森林経営でもある（※1）自伐型林業の推進に取り組んでは。また、林業の担い手・人材育成などは。

答 林業振興施策として自伐型林業の育成を掲げているが、当面は、森林環境譲与税を用いた林内路網の改修や、施業に伴う人家周辺の防災対策など、喫緊の課題の解決に向けて取り組む。

また、県や関係機関等と連携し、林業の担い手の育成を推進していく。

（※1）「地方創生の鍵」として期待され、採算性と環境保全を高い次元で両立する林業スタイル



林業活性化や担い手・人材育成に繋がる林業体験

問 間伐材等の利活用のためにも、木質バイオマスボイラー等の導入が必要では。また、再生可能エネルギー導入の調査・検討の進捗状況は。

答 「さくらの湯」と「ぶなの湯」の給湯システムに木質バイオマスの導入について検討している。また、マイクロ水力発電についても検討しており、本年度中には、方向性を示したい。

問 当町の課題解決に有効な取り組みとして、（※2）地域おこし協力隊制度を活用しては。

答 地域おこし協力隊など国の制度の中から当町に有効な制度を選んでいきたい。

（※2）地域外の人材を受け入れ地域協力活動を行ってもらい、地域力の維持・強化を図ることを目的とした制度



石田 照子 議員

問 箱物行政への考えを問う 答 活用、存続、廃止等検討する

少子高齢化、生産年齢人口の減少による行財政の縮小、老朽化した施設の維持管理費の増加等が予想される中、思い切った発想の転換が必要と思ひ質問する。

問 現在のまま同規模の施設を維持管理しようとする、毎年1億円の赤字が出ると試算されている。現状はどうか。

答 新しいものは作らず、役目の終わった施設は廃止する。町民に必要な施設は残すことで、持続的かつ安定的な行政サービスを提供していく。



再開発予定の町営住宅跡地

問 財政状況等の現実を町民に知らせていくべきでは。

答 ホームページ以外にもお知らせしないといけないと思う。事業手法としてPFIやクラウドファンディング等お金をかけない手法もあるので、工夫していく。

問 県内初の大雨特別警報が発令され、警戒レベルは最高の5であったが、避難所は一部分の開設であった。開設の基準は。

答 避難所全部を開設する基準はない。冷暖房の設備や畳部屋を備えた施設を避難所として開設した。

女性や乳幼児、ペットへの配慮が足りないことが判明したので、今後は、しっかりと対応できるように対策をとる。

復旧対応では職員に心より感謝申し上げるとともに、浮かび上がった問題点を早期に解決する必要があると思ひ質問する。



土砂の流入により見直しが必要な避難所

問 台風19号の被害を教訓に 答 女性や乳幼児、ペットにも配慮する

「河村氏ゆかりの地とつづ」

問 関係自治体として、小田原北条五代祭へ参加させていたただいたらどうか。

答 パレード等への新規参入は困難である。子どもたちが歴史に関心を持ち、郷土愛を育めるよう河村城跡の情報発信を図っていく。



瀬戸 恵津子 議員

問 防災対策と災害への対応策の見直しは
答 防災の専門官を雇用し地域防災を推進

防災は最悪の事態を想定し何を
するのか決めておく危機管理が、
重要と考える。今回の台風19号の
ような豪雨は必ず起きるといわれ
ていることから、町民の防災意識
は高まっている。山北町にあった
現実的な対策を、強化すべきと質
問する。

問 町が発行している「我が
家の防災ハンドブック」「山北町
洪水ハザードマップ」「山北町土
砂災害ハザードマップ」について
再検証する必要があると考えるが
どうか。

答 県では浸水想定区域につ
いて酒匂川以外の河内川・皆瀬
川・滝沢川・尺里川の危険区域の
再検証を完了し、令和2年度には
土砂災害警戒区域等の再検証が完
了する。その後、町では新たなハ
ザードマップを作成し配布する。
災害発生時に住民が迅速・的確
に避難できるような情報の提供に
努める。

問 避難所の開設は適正で
あったのか、検証されたか。
生涯学習センターの受け入れ可
能人数は。

答 清水ふれあいセンターの
土砂流入被害の発生をふまえ避難
所の設置は、来年の出水期に向け
見直す。

今回、生涯学習センターでは、
避難者が184人来られ様々な課
題が見えたのでさらに検証する。
受け入れ可能人数は約1500
人程度と考えている。



避難所で安心して眠る子どもたち

生涯学習センターに避難された人々は、184人

山北地区	87人
岸地区	47人
向原地区	42人
川西地区	3人
平山地区	4人
皆瀬川地区	1人

生涯学習センターは約1500人の受け入れが可能

問 自主防災組織との連携に
より、地区にあった対策を強化育
成すべきであり、専門的知見のあ
る方を防災リーダーとして雇用す
べきだ。

答 来年度に退職自衛官等、
より専門的な人材を採用するため
に関係機関と調整している。



清水 明 議員

問 地震災害時における避難所開設について
答 対応できるよう整備を進めている

台風による避難は台風通過後
は解除されるが、地震災害による
避難は長期にわたる可能性が高い。
そこで質問する。

問 阪神淡路大震災クラスの
地震が山北を襲った場合、指定さ
れている避難所は被災者を受け入
れ可能なのか。

答 町内7箇所の避難所だけ
では対応が困難と考えている。
多様な避難所の確保を図る必要
があると考えている。



安心安全な避難所

問 学校が避難所となるが開
設に当たっての使用規則を含めて
の打ち合わせはできているのか。

答 山北高校以外は明文化さ
れた使用規則等はないが、山北町
地域防災計画に基づき避難所とし
て活用していく。

問 各避難所の運営について
は地域の協力が必須と思われるが、
地域住民に対する事前説明、訓練
等の状況は。

答 山北町地域防災計画にお
いて、避難者を中心に自主的な管
理運営を行うため、「指定避難所
運営本部」を設置し、「運営協議
会」を中心に運営する事になる。
防災訓練の見直し等を通じて、
住民が避難所運営に関する理解を
深められるよう取り組んでいく。



給水に励む役場職員

問 収容能力、備蓄品等十分
といえる状況にあるのか。

答 収容能力については、一
時的に不足するものと認識してい
る。備蓄品等については、短期的
ではあるが、対応できるよう整備
を進めている。



山田 陽子 議員

問 避難所となる公共施設にオフグリッド(独立型電源)導入を 答 可能であれば導入を図りたい

台風19号で当町も大きな被害に見舞われた。今後の災害時のライフラインの対応策や防災拠点の強化に取り組んでいく必要がある。また、将来甚大な災害を防ぐためにも、環境負荷の少ないライフスタイルへの見直しを迫られている。

行政、町民一体となり自主防災強化及び持続可能な社会の実現を目指すべきである。



停電時にも暖がとれる薪ストーブ

問 各家庭へ防災用資機材(薪ストーブ・給水タンク等)を助成する考えは。

答 個人への助成は考えていない。現在、自主防災組織(自治会など)に購入費の9割を助成している。

問 旧三保中学校の体育館には設置してあるが、他の施設は屋根の形状などにより設置が難しい。環境に負荷をかけない再生可能エネルギーの導入については、今後山北らしいマイクログル発電や木質バイオマスを検討していく。

問 公共施設に非常時でも使用できる太陽光発電と蓄電池を設置する考えは。

問 外国人へのサポート体制は 答 県と連携を図っていきたい

4月の法律の改訂により在留外国人の増加が見込まれる。今後介護や建設の分野でも外国人労働者の増加が想定され、災害時を含めた支援対応が求められる。

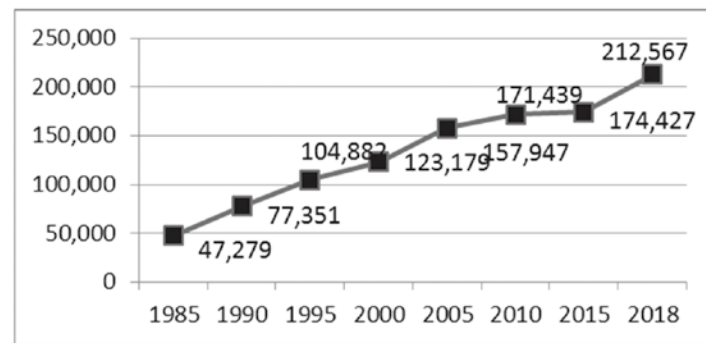
問 当町の外国人の実態は。

答 11月1日現在94人。年々若干増加しており、中国、ベトナム、フィリピン国籍の方が多い。

問 月1回の相談窓口を開設しては。

答 現在は考えていない。当面は県が開設する相談窓口を紹介していく。

災害時の情報伝達方法については、町ホームページ等を活用していきたい。



神奈川県内の外国人数の推移 (県 HP 参照)



遠藤 和秀 議員

問 第5次総合計画の実現に向けた町道の整備を早急に 答 早期完成を目指して取り組む



岸側からの松原先

山北町第5次総合計画が策定され基本方針である「生活道路の整備により安全安心な通行ができ、地域の特性に応じた生活道路整備の推進」・「民間活力を活用した住宅開発の促進」がある。

そこで、「東山北1000計画」尾先地区(東山北 水と緑あふれる「ゆとり住宅」)実現に向けた早期整備が必要と思ひ質問する。



答 ぐみの木松原先線は、山北町と松田町を酒匂川沿いに結ぶ幹線道路として、第5次総合計画に位置付けてある。11月に河川占用の許可が下り、山北高校河川側を令和2年度中に完成させるとともに、尾先地区側の河川協議を早急に進めて、2022年度内の完成を目指す。

問 「ぐみの木松原先線改良工事」は、現在のところ整備が進んでいないように思う。予定の2022年度内に道路は完成できるのか。



山北町側からの酒匂川左岸

問 山北高校から松田町庶子につなげる道路は、酒匂川左岸道路の名称で、早期実現にむけて松田町との協議は進んでいるのか。国道246号線が通行止め時、迂回道路として使用できる。

答 松田町も当町と同様に国の交付金を活用し整備を進めているが、交付額が非常に低いため、思うように事業が進んでいない状況である。

酒匂川左岸道路は近隣市町へのアクセスルートの必要性など当町だけでなく、松田町も早期開通を目指している。

両町で連携を図り、整備を推進していく。

活きいきひろば

明るい未来への懸け橋

おれんじ会

会長

磯崎

加代子さん



おれんじ会は、旧J Aあしがら山北事業所婦人部と、旧農業改良普及センター共催の「若妻講座」を発端としており、農業に関心を持つ20代〜30代の女性で平成4年に発足しました。平成6年からは、昔ながらの製法による無添加の味噌を作っています。「毎日食する味噌は身体に良いものを」と考え、会員が年間食する量を作ることから始めました。

平成8年から、おれんじマーケットを24年間連続して初冬に開催してきました。会員が丹念に育てた葉ぼたんは、冬の風物詩としてお客様にとっても好評です。他にも山北の新鮮な農産物、美味しい自家製加工品、稲わらを利用したクリスマスリースやお正月飾りなどを販売しています。また、寒い中集まって頂いた沢山の方々に暖をとってもらおうと、手作り味噌の豚汁を無料で提供していますが、毎年大好評です。

おれんじ会は、個々の得意分野を活かせるようにメンバー全員がアイデアを出し合い活動が続けて参りました。一人ひとりの力は小さくても、協力すれば何かできると信じておりますので、結果としてここまで28年間活動が続けることができたのだと思います。

おれんじ会は農業振興の明るい未来への懸け橋となるように、これからも活動する所存です。

やまきた町議会
おしゃべり Cafeを開催中

町議会では、皆さまとの意見交換の場を増やすことを目的に「おしゃべりCafe」を開催しています。気軽に立ち寄り頂き、皆さまの『声』をお聞かせください。

日時：2月20日(木) 13:30～16:00
場所：小田原百貨店山北店
(イトインコーナー付近)

日時：3月20日(金) 13:30～15:30
場所：健康福祉センター
(ともしびショップ付近)

※ 議員数名とお茶を飲みながらおしゃべりしましょう！



編集後記

令和2年を迎え1か月がたちましたが、町民の皆様いかがお過ごしでしょうか。

このたび、昭和45年9月1日に第1号が発行された議会だよりが、研究・改善を積み重ね今回の発行で第200号を迎えることとなりました。

この間、山北町を取り巻く環境は著しく変化し、町民ニーズや価値観が多様化する中、議会の果たす役割はより重要で複雑になっております。

今後も、広報分科会一同、町民に開かれた議会、皆様の声を代弁できる議会を目指し、議会広報モニターの支援を受け、広報紙づくりに取り組んで参りますので、更なるご協力をよろしくお願いいたします。

末筆となりますが、春まだ浅く、寒さ厳しき折り、くれぐれもご自愛ください。

(和田成功)

議会の傍聴においでください

第1回定例会(予定)

3月3日(火)～

庁舎内テレビでも放映しています

お問い合わせ 議会事務局 **75-3653**

議会ホームページ

山北町ホームページ

→町議会のアイコンをクリック



広報分科会
会長 山田 陽子
副会長 堀口 恵一
委員 和田 成功
清水 明
兄玉 洋一
遠藤 和秀